

すずかも通信 No 17

1983. 2. 1

行徳野鳥観察舎の会会報



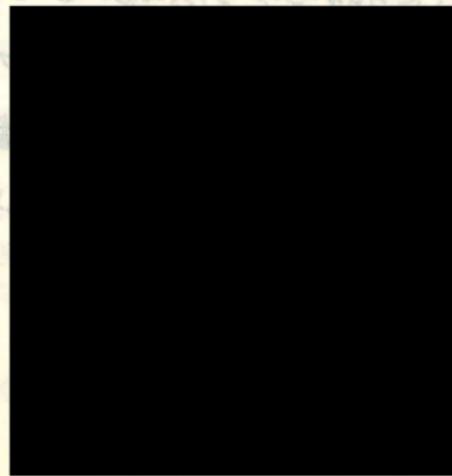
秋も深まり
枝葉色になら
実が盛られます
イシミカツ

大庭みき江

[REDACTED]



トベラ



一はあと一

「東京ディズニーランド開園に思うこと」

夢の遊園地が、浦安の埋め立て地（通称オリエンタルランド）に、できました。この場所ももとは干潟であったところ。「青ヶ島物語」（山本周五郎）で有名なところで、貝や魚、ノリなど、海の幸のモチーフも、豊かな場所であった。

しかし、千葉市の川崎製鉄の埋め立てから始まった、千葉県の埋め立てでは、今や1万haにも及び、そのため、ほとんどの干潟は埋めつくされてしまった。

わざわざ頬の漁民への保険金と引き換えに豊かな海の幸にめぐまれていた東京湾は、まだまだ豊かな自然を残してはいるが、巨大な水路とともに、そのに近くなってしまった。

この埋め立ての途中では、たくさんの野鳥が見られた。

私が鳥の観察を始めたころ（昭和44年ごろ）このオリエンタルランドは埋め立て中で、ミヤコドリやハラシギなど、今や、東京近くでは認められなくなってしまった、いろいろな鳥をこの場所で観察しています。埋め立て後は大きなアシ原となり、チュウヒやカモ類がよく見られたものでした。

豊かな海を殺して、コンクリートでかためられた夢の（？）ディズニーランドができる。（4/15）また、この地区は新聞などごぞんじでしょうか。

土地こころがしや、計画変更など、利権がらみで国会でも問題になりました。

そのような中で、野鳥たちほどんどん意のつむられています。

今の私たちや、これからの方々たちにとって、コンクリートの遊園地よりも、干潟や、水たまりやアシ原のほうが、ずっと大切なもののなごむはいじょうか（もちろん野鳥たちにとっても）

今年も観察会、保護区を、鳥のために、入ったために
守るために、私たち（鳥と人間）の未来のために、みんなのご協力を、
おねがいします。

鶴川（はなたか）



=初日ヒスズガモの帰還を見た会=

一般 告一

新春恒例となるべく、この行事もすでに7回目をかえました。

今日は、あいにくヒスズガモの様子がいつの年とかわり、保護区に入ったり、入らなかったりで、12月6日から1月2日まで、大群が見られた日は、わざかに1日でした。

昭和58年1月1日、この日も朝焼を背景にした「大群団」は見られませんでした。それでも、清洲（セイリ）など、来迎（らいこう）を、あがむのはよいものですね。

さて、今年はこれも恒例となるべく「ふしへ大会」に、ラジオ体操会をはじめ、名二のご協力がありました。ありがとうございました。本年も、来年もどうぞよろしく。

♪犬はよろこひニワカマキ

ネコはコタツで

まるくなる夕



支出

原 糖 約5kg	森田 昭次 様
あもち ～ 料	ラジオ体操会
酒かす	会員料
労力 費用	ラジオ体操会
	大賀 きみ江 様

現金ご寄付 8,733円

あづさ	スナ	ス.ス.00円
そら	6月	2,580円
ゆで鶏肉	6月×4回	992円
そら焼のみ		692円
1人		428円
計 6,912円		
残 1,821円		

まあ、残金の1,821円は、次の会へ貯金に繰り入れさせていただきました。

一さえずりー



新年早々、お世話になりました。旧年内にひき続きまして、本年もどうぞよろしく、
とい上げます。一家四人そろって、明治神宮初もうどんと、一慶は見たいと、
つづきました。スズガモの巣が立ちを観れて、毎日の出をあがめて、大慶よい
一日でした。もつと大きめを飛び立ちさせましたことも、愛間からやっとうのがれた
初日の出だったことを、気にほりませんでした。歌をいえば「さりげありませんから…」
観察会では、ふしへこと、お祭のこちうそうに、あづかり、ありがとうございました。
思いがけない接待というのも楽しいのですね。

<新宿区 宇喜

外の鳥を、われさせてくれた甘酒が非常に美味でした。（アリガトウです）
元旦のせいか、見るぞうが少しが多いと思いました。
(観察会前の) エサはモロタレましたな、所には置けないものぞしうが。

一鶴集部より

皆さん、おらの、ご意見、感想など（創作童話、カットなど）
送ってください。

あて先は、田舎保育園、または、鶴集部で。

あざれりしていまる。

僻つまへす…





行事案内

だれでも自由に参加できます。

- 新潟(行徳)自然観察会
2月13日、3月13日、4月10日(毎月第2日曜日)

集合 東西線 行徳駅広場 午前10時
解散 野鳥観察会 午後2時半頃

わざかに残されている、妙興地正の
湿地や、保ゴ区でカモ、サギ、カモメ、バン
などの水鳥を中心に動植物の観察を
します。(午前中に江戸川放水路、妙興の
観察をして、午後に保ゴ区の中に入れて
いたたく予定です)

* お弁当、水筒、雨具、防寒具、あわせなく。



もしもしたら…こんなところが見られる?

- 定期 圏内自然観察会(観察会主催)
2月6日、2月20日、3月6日、3月20日、4月10日
(毎月第1、第3日曜日)

集合 野鳥観察会前 午後1時半
解散 " " 午後3時半頃

圏内の観察路を約3.5km歩きます。

特別行事

- 冬の夕方観察会 2月27日午後4時半頃
観察会前集合 指導 蓬尾喜蔵

ねぐらに入る小鳥たち、餌をとりに行く。
カモやゴイサギ… 昼間とは異なる鳥たちの
ようすが見られます。量が少なければ
フクロウ類に会えるかも…
“防寒の用意は十分に”

- 謹賀年始 「北アメリカの鳥たち」

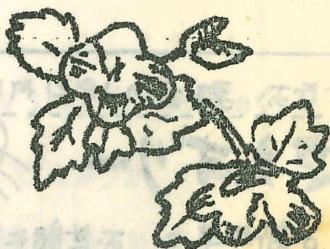
3月27日 午後1時半～3時半頃

観察会 1着 視聴覚室

講師 百瀬邦和氏

1980年 アメリカのウイスコンシン州にある
I.C.下(国際つる駅)に約6ヶ月の間
滞在した。その間に出会った北アメリカの
東部の野鳥たちを紹介します。

餌台に訪れる冬の小鳥、春になると
次々とやって来る、ガシラモの群
、ソウゲンライチョウの結婚式など…



一書類局より

- 82年度の会費の納め忘れはありますか?
年会員 普通会員 1000円 貢助会員
(観察会で会費をあきかへてもらえてます)
* 83年度 カレンダーを販売しています(会員割引 1000円→800円)ぜひお買求め下さい。
その他、雑誌はがき、鳥のマスコット、本などを見ています。

一編集ニラ記

- 定期刊行始め…新しいふうだいしていただきける方が増えました。頗るリマス(ほほえか)
- 今月号から、編集のふうだいをさせていただきます。よろしくお願いします(新)
- 今月号の表紙は 大鷦鷯の裏模の絵です。皆さんも見て見ませんか。
- 今月号の字はすこし読みやすいでしょ(新書さんありがとうございます)、7点などとお送り下さい。

すすきの通信

No. 17

1980年 12月1日発行
編集 仙台-6129
年会費 1000円

発行人
事務局
編集人
観察会

谷 栄
鈴木 有夫
田嶋晴彦
(新)



市川市福井4-22-11
TEL. 0473(97) 9046